

## 平成 18 年度事業概況

平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで

### 1. 定時会員総会に関する事項

平成 18 年 5 月 22 日、アクチュアリー会大会議室にて会員総会を開催し、

- 第 1 号 平成 17 年度事業概況に関する件
- 第 2 号 平成 18 年度事業計画（案）承認の件
- 第 3 号 平成 17 年度決算承認の件
- 第 4 号 平成 18 年度予算（案）承認の件
- 第 5 号 会費分担に関する件

を諮り、原案どおり承認された。

### 2. 会員の異動状況

本年度の会員の異動は、賛助会員については入会 3 社、退会 2 社、個人会員については入会 188 名、退会 121 名（うち死亡 5 名）があり、平成 19 年 3 月末の会員数は、下表のとおりとなった。

#### 入会賛助会員

イーオン アインティージャパン 株式会社  
あらた監査法人  
カーディア・アシアランス・リスク・デベロップメント  
以上 3 法人

#### 退会賛助会員

株式会社 三菱東京UFJ銀行  
中央青山監査法人  
以上 2 法人

名誉会員	9 名
正会員	1,173
準会員	749
研究会員	1,726
小計	3,657
賛助会員	106
合計	3,763

### 3. 事業概況

〔試験関係〕

#### (1) 平成 18 年度資格試験の実施

平成 18 年 12 月 25 日、26 日、27 日の 3 日間、東京（早稲田大学理工学部）および大阪（天満研修センター）において実施し、平成 19 年 2 月 15 日に合格者を決定した。受験科目総数は 3,396 科目、うち合格科目数は 426 科目、全科目合格者は 39 名であった。

〔教育・研修・研究発表関係〕

(1) 平成 18 年度アクチュアリー講座を実施

会員の教育制度として、東京においてアクチュアリー講座を実施した。アクチュアリー講座は平成 18 年 5 月 9 日から 11 月 28 日の期間で実施し、基礎講座 11 科目、特論講座 7 科目が開講され、受講者数は基礎講座 125 名、特論講座 31 名であった。また、平成 17 年度に引き続き、平成 18 年 10 月 16 日から 11 月 27 日の期間でモデリング講座を実施した。受講者数は 42 名であった。

(2) 平成 18 年度アクチュアリー追加演習講座を実施

会員の教育制度として、東京においてアクチュアリー追加演習講座を実施した。アクチュアリー追加演習講座は、入社 2～3 年目以降の受験者向けで、演習を中心とした実践的なアクチュアリー知識を習得することを目的とした講座である。平成 18 年 9 月 5 日から 11 月 29 日の期間で生保数理演習、損保数理演習および年金数理演習の 3 科目を実施し、受講者数は生保数理演習 47 名、損保数理演習 55 名、年金数理演習 49 名であった。

(3) 平成 18 年度年次大会・IT 研究大会の開催

年次大会は、平成 18 年 11 月 8 日、9 日の 2 日間、経団連会館、大手町サンケイプラザにおいて、IT 研究大会は 11 月 7 日、8 日の 2 日間、経団連会館、大手町三井生命ビルにおいて開催した。

年次大会初日における特別講演は、午前の部において「最近の金融経済情勢等について - 展望レポートを受けて」のテーマで日本銀行政策委員会審議委員 水野 温氏 氏により、午後の部において「保険会社の企業評価は如何に行われるべきか？」のテーマで早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授 森平 爽一郎 氏と、「トラブル未然防止の考え方とそのシステム」のテーマで電気通信大学システム工学科教授 鈴木 和幸 氏によりそれぞれ行われた。

また、IT 研究大会の特別講演は「IT プロセスの見える化」のテーマで社団法人日本情報システム・ユーザー協会専務理事 細川 泰秀 氏によって行われた。

(4) 例会の開催

第 1 回例会 平成 18 年 6 月 20 日（於：こまばエミナース）

「コンプライアンスの新たな考え方とアクチュアリー業務」

郷原 信郎 氏（桐蔭横浜大学法科大学院）

第 2 回例会 平成 18 年 9 月 5 日（於：こまばエミナース）

「巨大都市のリスク・インデックス」 Stephen Voss 氏（ミュニックリー ジャパン サービス）

第 3 回例会 平成 18 年 12 月 1 日（於：富国生命ビル 28 階大会議室）

「退職給付会計の国際的動向」 大山 義広 君（三井アセット信託銀行）

第4回例会 平成19年2月14日(於:こまばエミナース)

「証券化手法を用いた大規模災害のリスク・マネジメントについて～生命保険証券を例として」

Andrew J Linfoot 氏(シカゴ・ホル・アクチュアリー会会長)

第5回例会 平成19年3月29日(於:こまばエミナース)

「少額短期保険業者の現状・課題とアクチュアリーへの役割」

西田 政彦 氏(少額短期保険協会 理事)

#### (5) 研修例会の開催

第1回研修例会 平成18年5月23日(於:こまばエミナース)

「カナダにおける変額年金の資本と責任準備金規制の動向」

Simon Curtis 氏(マニユライフ・ファイナンス)

Allan Brender 氏(カナダ監督当局)

第2回研修例会 平成18年6月13日(於:こまばエミナース)

「アクチュアリー職の現在と将来;カナダにおける展望」

Charles McLeod 氏(カナダアクチュアリー会 会長)

第3回研修例会 平成19年2月16日(於:早稲田大学大学院ファイナンス研究科 教室8・9)

「保険会社にとって分散不可能リスクとは何か?元受ベータと株式ベータ、資本配分」

森平 爽一郎 氏(早稲田大学大学院)

#### (6) セミナーの開催

正会員および準会員を対象に下記の5テーマについて相互研鑽を目的に11月よりムーンライトセミナーを実施した。

オペレーショナルリスク管理

石岡 秀之 氏(あらた監査法人)

西原 立 君(あらた監査法人)

数理ファイナンス入門

関口 健太郎 君(アイエヌジー生命)

アクチュアリーと内部統制

高橋 隆司 君(あずさ監査法人)

確率論的シミュレーションについて

猪野 力弥 君(ミリマン インク)

損害保険におけるIBNR 備金の統計的見積り

セミナー部会委員

#### (7) プロフェッショナルリズム研修の実施

平成19年2月22日、損保会館において、正会員(今年度の資格試験で全科目に合格した準会員を含む)および準会員(今年度の資格試験で基礎科目すべてに合格した研究会員を含む)を対象に下記の研修内容で実施した。今年度の受講修了者は正会員30名、準会員40名であった。

IAA シラバスとプロフェッショナルリズム 大山 義広 君(三井アット信託)

アクチュアリーと行動規範について 小林 修 君(明治安田生命)

生保のプロフェッショナルリズム 猪ノ口 勝徳 君(日本生命)

損保のプロフェッショナルリズム 若林 健一 君(日本興亜損害)

年金のプロフェッショナルリズム 長澤 亮之 君(住友信託)

藤井 康行 君(住友信託)

## (8) 研究会活動

現在以下の 10 の研究会で活発な研究を行っている。各研究会の活動状況等について、当会ホームページに掲載するとともに、研究成果としてまとめたものについては、会報別冊等を通じて公表した。

外国文献研究会	生保計理に関する基本問題研究会
ASTIN 関連研究会	巨大リスク研究会
年金基礎研究会	年金理論研究会
医療保険研究会	AFIR 関連研究会
デリバティブ研究会	ALM 研究会

## 〔委員会・部会活動〕

### (1) 実務基準の整備・充実

- イ。「生命保険会社の保険計理人の実務基準」については、会社法の施行に伴う保険業法ならびに保険業法施行規則の改正等に対応するため、平成 19 年 1 月に所要の改定を行った。
- ロ。損害保険会社または外国損害保険会社等の保険計理人に係る実務基準につき、実務基準部会（損保）において検討の上、「損害保険会社の保険計理人の実務基準」として平成 19 年 3 月に制定した。
- ハ。「全国共済農業協同組合連合会の共済計理人の実務基準」については、会社法の施行に伴う農業協同組合法ならびに農業協同組合法施行規則の改正等に対応するため、平成 19 年 3 月に所要の改定を行った。

### (2) 標準生命表改定に向けた検討

#### イ。標準生命表 2007 の制定

第 12 回標準死亡率諮問委員会（平成 18 年 7 月 25 日開催）における審議および広く一般からの意見募集を経て、平成 19 年度より適用すべき標準生命表の改定案として、「生保標準生命表 2007（死亡保険用）」、「生保標準生命表 2007（年金開始後用）」、および「第三分野標準生命表 2007」を制定し、金融庁に提出した。

#### ロ。標準生命表の改正手続きに関する規則の制定

保険業法に定める指定法人として金融庁より委託を受けて策定する標準生命表に関し、制定手続きの一層の向上を図ること等を目的として、広く一般から意見募集をすることも含めた、標準生命表の改正手続きに関する規則を制定した。これに基づき、平成 18 年 8 月に「標準生命表」の改定案を公開し、意見募集を実施した。

### (3) 国際会計基準・保険監督の国際基準への対応

国際会計基準および保険監督の国際基準についてはそれぞれ IASB(国際会計基準審議会)ならびに IAIS(保険監督者国際機構)において精力的な検討がなされ、それぞれの機関会員である IAA(国際アクチュアリー会)では、アクチュアリー専門職団体として保険契約の国際会計基準(IFRS4)に対応する国際アクチュアリー実務基準の作成や IAIS の委託研究を行う等の活動を行っている。IAA 正会員メンバーである当会においても、生保委員会、損保委員会の関連の部会にて検討を進めるとともに、IAA の委員会活動に積極的に参画している。

### (4) 情報提供機能の充実

- イ. 各委員会・部会の活動状況等について当会のホームページに情報を掲載した。
- ロ. 諸外国のアクチュアリー会の刊行物に掲載されている記事の一部について、その概要の紹介を当会のホームページにおいて行った。

### (5) 中長期的な事業戦略の策定

企画委員会において、アクチュアリー会の中長期的な事業戦略の策定について検討を進めている。

### 〔意見表明〕

以下の案件について、IAA の電子投票を行った。

- イ. 平成 18 年 4 月、世界銀行レポート「21 世紀の高齢者所得保障：年金制度と年金改革に関する国際的見通し」に対する IAA のコメント案に関して、賛成として投票を行った。
- ロ. 平成 18 年 7 月、IAA 国際教育プログラム委員会の暫定委任事項に関して、賛成として投票を行った。
- ハ. 平成 18 年 7 月、IAA プレジデントエレクトの選任に関して、賛成として投票を行った。
- ニ. 平成 19 年 1 月、保険契約の国際会計基準「IFRS4」に対応した IAA の実務基準の第 3 回公開草案の一部改訂に関して、賛成として投票を行った。

### 〔国際関係〕

#### (1) 第 35 回東アジア・アクチュアリー講座 (ASEA) の実施

平成 18 年 7 月 24 日から 8 月 4 日までの 12 日間にわたり、東アジアを中心とする 9 地域から 28 名の参加を得て、保険数理に関する特定のテーマについての講座を実施した。

#### (2) EAAC 東京大会に向けた検討と予備会議の開催

平成 19 年 10 月 9 日～12 日に新宿 京王プラザホテルにて開催される予定の、第 14 回東アジアアクチュアリー会議 (EAAC) 東京大会に向けた検討を行った。また、EAAC 加盟組織代表を招き、平成 18 年 10 月 13 日に予備会議を開催した。

### (3) IAA 活動

本年度はパリ会議（平成 18 年 5 月 24 日～28 日）、エジンバラ会議（平成 18 年 11 月 16 日～19 日）に委員を派遣した。

平成 18 年度末現在の当会の IAA 委員会等の委員は以下のとおりである。

Accreditation Committee	日笠 克巳 君
Education Committee	日笠 克巳 君
Nominations Committee	日笠 克巳 君
Insurance Regulation Committee	河野 年洋 君
Solvency Subcommittee	河野 年洋 君
Reinsurance Subcommittee	河野 年洋 君
Insurance Accounting Committee	阿比野 裕 君 田口 茂 君
Subcommittee on Actuarial Standards	阿比野 裕 君 田口 茂 君
Advice and Assistance Committee	村田 富生 君
China Subcommittee	村田 富生 君
Professionalism Committee	吉村 雅明 君
Task Force on Strategic Planning	吉村 雅明 君
ASTIN Section	藤井 康秀 君
IACA Section	吉田 英幸 君
IAA Life Section	村田 富生 君
IAA Health Section	坂本 純一 君

### (4) IAA 迅速処理適用案件

以下の案件について、IAA の迅速処理手続きが適用された。ハ.については、社外アクチュアリーに関する位置付けについて、当会から IAA 保険監督委員会に意見の提出を行ったが、それ以外の案件については、当会から反対等の意見は表明しなかった。

- イ. 平成 18 年 5 月、IASB (AcSB)「ディスカッションペーパー 財務会計の測定の基礎-当初認識時の測定」に対する IAA 意見
- ロ. 平成 18 年 5 月、IAIS「IASB の保険契約プロジェクト - フェーズ の結果として生じる課題に関するコメント 第二弾」に対する IAA 意見
- ハ. 平成 18 年 7 月、IAIS「保険会社のソルベンシー評価のための共通の体系 (2006 年 5 月 31 日版)」に対する IAA 意見
- ニ. 平成 18 年 7 月、IAIS「ALM に関する監督基準 (案)」に対する IAA 意見
- ホ. 平成 18 年 7 月、IASB「IAS 1 財務報告書の表示の公開修正草案 - 表示の見直し」に対する IAA 意見
- ヘ. 平成 18 年 8 月、IAIS「生命保険会社のテクニカルリスクと業績に関するディスクロージャー基準」に対する IAA 意見
- ト. 平成 18 年 9 月、IAIS「ファイナイト再保険のリスク移転、ディスクロージャーおよび分析に関するガイダンス文書 (案)」に対する IAA 意見
- チ. 平成 18 年 10 月、IASB「財務報告に関する改善された概念フレームワークについての予備的見解：財務報告の目的及び意思決定に有用な財務報告情報の質的特性」に対する IAA 意見

リ．平成 18 年 10 月、IAIS「保険会社のソルベンシー評価のための共通の体系（2006 年 10 月 9 日版）」に対する IAA 意見

ヌ．平成 19 年 1 月、IAIS「保険会社のソルベンシー評価のための共通の体系（2006 年 12 月 4 日版）」に対する IAA 意見

ル．平成 19 年 2 月、IPSASB「公開草案第 31 号従業員給付」に対する IAA 意見

ヲ．平成 19 年 3 月、IASB「公正価値測定に関する論点書」に対する IAA 意見

#### (5) 国際交流関係

来日した各国アクチュアリーと交流を図ったほか、次のとおり会議等に会員を派遣した（前述の会議についても再掲）。

平成 18 年 5 月 7 日～10 日 CAS スプリング・ミーティング（於：プエルトリコ）

古木 純二 君

平成 18 年 5 月 24 日～28 日 IAA 会議（於：フランス パリ）

日笠 克巳 君、吉田 英幸 君、河野 年洋 君、田口 茂 君、  
重原 正明 君、飯島 博幸 君、吉村 雅明 君、村田 富生 君

平成 18 年 5 月 28 日～6 月 2 日 ICA 会議（於：フランス パリ）

日笠 克巳 君、上田 泰三 君、村田 富生 君

平成 18 年 9 月 18 日 IAA ソルベンシー小委員会会議（於：イギリス ロンドン）

河野 年洋 君

平成 18 年 10 月 9 日、10 日 Asian Retirement Conference 2006（於：シンガポール）

位田 周平 君、須江 隆太郎 君

平成 18 年 10 月 15 日～18 日 SOA 年次大会（於：アメリカ シカゴ）

村山 良樹 君

平成 18 年 11 月 12 日～15 日 CAS 年次大会（於：アメリカ サンフランシスコ）

千葉 伸幸 君

平成 18 年 11 月 14 日、15 日

香港アクチュアリー会第 3 回年次大会および第 6 回アクチュアリー・シンポジウム

（於：中国 香港）

花津谷 徹 君、泉田 夏樹 君

平成 18 年 11 月 16 日～19 日 IAA 会議（於：スコットランド エジンバラ）

日笠 克巳 君、吉田 英幸 君、坂本 純一 君、阿比野 裕 君、  
河野 年洋 君、森本 祐司 君、吉村 雅明 君、重原 正明 君、  
安中 眞 君、村田 富生 君

平成 19 年 2 月 12 日、13 日

インドアクチュアリー会第 9 回 Global Conference of Actuaries（於：インド ムンバイ）

長澤 亮之 君、大塚 忠義 君

平成 19 年 3 月 5 日～12 日

上海財経大学、西南財経大学および中国アクチュアリー会等訪問（於：中国 上海・成都・北京）

多島 和夫 君、村田 富生 君

〔評議員会〕

(1) 平成 18 年度評議員会の開催

平成 19 年 3 月 1 日、経団連会館にて開催した。平成 18 年度の事業概況および平成 19 年度の事業計画について審議した。

〔産学共同〕

(1) 京都大学より保険数学の講師派遣の依頼があり、大嶋 孝造 君（住友生命）、辻 芳彦 君（大同生命）、南 嘉博 君（日本生命）を派遣した。

(2) 大阪大学より保険数理の講師派遣の依頼があり、青井 知幸 君（日本生命）、金澤 巖 君（大同生命）、湯浅 味代士 君（住友生命）を派遣した。

(3) 立命館大学よりアクチュアリープログラムの中の年金数理の講師派遣の依頼があり、稲田 忠昭 君（りそな信託）、佐々木 国夫 君（個人）、吉澤 博 君（個人）を派遣した。

(4) 東京大学経済学部教授 国友 直人 氏の依頼により、日本統計学会 75 周年記念事業への協力を行った。

(5) 平成 18 年 7 月 30 日～8 月 2 日に明治大学駿河台キャンパスにおいて APRIA 東京大会が開催され、組織委員会に日笠 克巳 君（三井生命）、米谷 悟 君（三井住友海上）が委員として参画した。また、全体セッション「Roles of Actuaries in Asia-Pacific Markets and Beyond」に日笠 克巳 君が報告者として参加した。

(6) 平成 19 年 1 月 28 日に日本大学 100 周年記念会館において日本大学文理学部主催による「シンポジウム 大学におけるアクチュアリー教育」が開催され、日笠 克巳 君（三井生命）が基調講演とパネルディスカッションへの参加を行った。

〔表彰関係〕

(1) 平成 17 年度資格試験成績優秀者の表彰

イ．理事長賞の授与

平成 18 年 5 月 22 日に、津田 雄一郎 君（第一生命）、河島 鉄郎 君（アクサ生命）、大屋 健二郎 君（三菱 UFJ 信託）、友寄 一郎 君（大同火災）に理事長賞を授与した。理事長特別賞は該当者がなかった。

□ . 科目別成績優秀賞の授与

同日、次の 8 名を表彰した。

関 大輔 君	(東京海上日動)	数学
小坂 昌也 君	(損保ジャパン)	数学
森池 真悟 君	(プルデンシャル生命)	生保数理
門脇 大輔 君	(損保ジャパン)	損保数理
符波 清治 君	(マニユライフ)	年金数理
市川 太佳之 君	(東京海上日動)	会計・経済・投資理論
大野 洋平 君	(ソニー生命)	会計・経済・投資理論
青木 茂光 君	(日本生命)	生保 2

(2) 優秀論文の表彰

平成 18 年 11 月 8 日、年次大会において次のとおり表彰した。

イ . 優秀論文の表彰 2 編

「公的年金のソルベンシー基準と『最適』な積立水準に関する考察」

清水 信広 君 (年金積立金管理運用独立行政法人)

「将来死亡率推定に関する一考察」

及川 桂 君 (第一生命)

□ . IT 関係優秀論文の表彰 2 編

「保険会社システムにおける EA 導入の可能性について」 IT 研究会第 1 グループ

「Web アプリケーション開発におけるテストの効率化と生産性向上」

IT 研究会第 7 グループ

〔懲戒関係〕

当会会員 1 名に対して平成 18 年 7 月 14 日に懲戒の請求がなされ、懲戒委員会での審議の結果、平成 18 年 9 月 20 日に請求は棄却するとの裁決が下された。

〔広報・出版活動〕

(1) 広報活動

イ . 広報誌「アクチュアリー」の配布

□ . 「アクチュアリーセミナー」の実施

主に学生を対象としたセミナーを、平成 18 年 11 月 11 日に東京 (日本アクチュアリー会大会議室) で、12 月 2 日には大阪 (住友生命 釣鐘倶楽部) で開催した。各々の参加者は 44 名および 28 名であった。

## (2) 会報等の刊行

次のとおり会報をはじめ各種の刊行物を発行した。

- イ．会報 第 59 号
- ロ．会報別冊 第 227 号 平成 17 年度資格試験問題集
- 第 228 号 標準生命表 2007 の作成過程
- 第 229 号 第 46 回 IT 研究大会報告
- 第 230 号 生命保険事業の市場整合的価値評価
- ハ．アクチュアリージャーナル 第 60 号～第 62 号
- ニ．アクチュアリージャーナル 特別号「リスクと保険」
- ホ．関西支部研究会記録 第 42 号（ホームページ上に掲載）

## 〔図書関係〕

### (1) 図書の充実

引き続き、図書室の図書の充実を図った。平成 18 年度中の図書の増加状況は次のとおり。

洋書 20 冊                  和書 23 冊                  計 43 冊

## 〔関西支部〕

### (1) 支部総会

平成 18 年 5 月 19 日、大同生命 大阪本社にて支部総会を開催し、

第 1 号 平成 17 年度事業概況に関する件

第 2 号 平成 17 年度決算および平成 18 年度予算（案）承認の件

第 3 号 平成 18 年度事業計画（案）承認の件

を諮り、原案どおり承認された。

### (2) 関西支部例会の開催

平成 18 年 5 月 10 日（於：アプロースタワー）

「ドイツの年金・社会保障事情」

高松 平藏 氏（ジャーナリスト）

平成 18 年 7 月 21 日（於：大同生命 大阪本社）

「モデリング」

藤田 岳彦 氏（一橋大学大学院）

平成 18 年 10 月 12 日（於：アプロースタワー）

「退職給付会計の課題と最近の動向」

三輪 登信 君（みずず監査法人）

平成 19 年 3 月 5 日（於：アプロースタワー）

「数理ファイナンスと金融・保険教育」

長井 英生 氏（大阪大学大学院）

(3) 関西支部研究会活動

次の5分科会において研究調査活動を行った。

保険計理分科会	委員長	辻 芳彦 君 (大同生命)
年金分科会	委員長	浅見 俊一 君 (りそな信託)
海外年金研究会	委員長	赤松 伸 君 (日本生命)
システム分科会	委員長	山下 修 君 (大同生命)
アクチュアリーセミナー	委員長	中村 吉男 君 (住友生命)

(4) 関西支部アクチュアリー講座の実施

関西支部においてアクチュアリー講座を実施した。受講者数および講師は次のとおりであった。

		受講者数	講 師
前期 (8~9月)	生保数理	9名	辻 芳彦 君 (大同生命)
後期 (10~11月)	生保数理	8名	辻 芳彦 君 (大同生命)